

～ 第52回 卒業式 ～

平成29年3月2日



学校長あいさつ

皆さん、こんにちは。健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、三月三日は雛祭り、女の子のお祝いです。呉看護では一日早い二日に52回生の卒業式と謝恩会が開催され、一日中祝いました。卒業式の最後に、「卒業生退場」の号令の下、2人ずつ揃って会場を後にするとき、涙を目に溜めながらいろいろなパフォーマンスを学生は行っていました。その中で多くの卒業生が行ったのが、一人が片方の人を抱きあげる、あるいは背に担ぐという行為でした。この行為には、相方を思いやる気持ちが出ていてほほえましく感じると同時に、看護は体力だと語っているようでした。

52回生が呉看護先輩の皆さんと共に働くとき、彼・彼女らは、きっと“体力的”にもすごく有能だと思います。また、夜の謝恩会にて私は、52回生に対して『任運自在』という言葉を送りました。“断ぜず修せず、任運自在なるを、まさに解脱と名づく”と禅に書かれてあるように、「あるがままを受け入れて全身全霊で今を生きること」という意味です。

卒業生の皆さんも、ご自身の感性を大切に、幸せな生活を送ってください。



国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校 学校長
呉医療センター・中国がんセンター 院長
谷山 清己

第52回

卒業式



奥田 明子

卒業式にむけて

3年間の学生生活も間もなく終わり、間もなく卒業を迎えます。無事にこの日を迎えることができたのは、支えてくれた家族、友達、先生方の存在があったからです。本当に感謝しています！！



卒業前演習

卒業前に3年間の集大成として「臥床中の心不全患者さんのシーツ交換」を行いました。

4月からは看護師として臨床で働くことができるように、アセスメントした結果を基に練習に励みました。演習の中で、優先すべき事項は、心不全患者の病態であり、バイタルサインや全身状態を観察し、その結果を評価し、シーツ交換の実施が可能と判断すること、また点滴ルート類などに注意しながら安全にシーツ交換を実施することができました。



出陣式



石山 鮎美

学校長先生や副学校長先生に激励のお言葉をいただきました。合格を祈願し、呉看伝統の「こんぶ」などを教職員の方々からいただき、嬉しかったです。先生方との握手も力強かったです(^_^)v



国家試験

国家試験当日

今年は安田女子大学で受験させていただきました。先生方や後輩に見送られ皆さんの温かい応援で頑張ることができました。



国家試験に向けて学習

国家試験合格に向けてみんなで図書室や会議室、教室を使用して学習に取り組みました。分からないところは友達と相談…



2年生



9月の看護過程基礎看護学実習を終え、各論実習が始まりました。インフルエンザの流行もあり、急遽日程が変更になることもありましたが、無事終えることができました。そのような状況で実習をさせていただくため、事前の準備を十分整えて実習に向かいました。しかし、実際に患者さんと関わらせていただく中で、事前学習を実習で活かすことの難しさを感じたのと同時に、解剖生理学、病態生理学の知識が重要であることを再認識しました。

2年次の実習ではベッドサイドに行き、しっかり患者さんを理解し、よりよい看護、個別性の看護を行っていくことにつながるということを学びました。これからも受け持ちをさせていただける患者さんに感謝して今後も実習に励みたいと思います。

奥田祐里・山本真紀

災害訓練

呉医療センターの災害訓練にボランティアとして参加しました。傷病者役17名 付き添い役3名でしたが、それぞれが役になりきりました。その中で、医療者の言動1つ1つが不安や逆に安心に繋がることを学び、自分自身が発する言葉に気をつけなければならないと思いました。多くの職種の方々が協力しながらチームで行動している災害訓練に参加し沢山の学びを得ることができました。



採血

看護技術の総合演習で採血の技術練習を行っています。実習の合間を縫って練習しました。



臨地実習のまとめ

2月までの各論実習のまとめを行いました。みんなで、臨地実習前に学習すると効果的だったことや臨地実習で工夫した看護技術、患者さんとの関わりなどについて、まとめていきました。3年生の臨地実習で活かしていきたいと思っています。

1年生

実習が無事終了しました。初めて患者さんに合わせた援助を行わせていただきました。自分達の未熟さを感じ、今後より一層勉学に励もうと思いました。



実習に向けて

4月から学んできた看護の知識・技術を活かして、日常生活基礎看護学実習の目的・目標を達成するために日々みんなで学習や技術練習に励んでいます。

実習を通して、五感を活用し、33時間という短い期間の中で1つでも、多くのことを吸収して自分のものにしていきたいと思っています。

患者さんを理解するためにコミュニケーションや観察を通して情報収集し、患者さんに合った援助方法を計画して実施していきたいです。また、学生の意見交換での学びや指導者さん先生のご助言をもとに実施後の評価を行い、更によりよい援助が行えるようにしていきたいと思っています。そうして、1年生の学習の集大成として現在の自分達の力を出し切れるように頑張ります。

松本亜美

1年間を振り返って初めてのことばかりで1年過ぎるのが早かったと思います。多くの終了試験で大変なときもありましたが、こうして学校生活を乗り越えていけたのは、54回生のみなどと一緒頑張ったからだだと思います。また、優しく頼りになる先輩方に囲まれて寮生活も楽しく過ごすことができました。これからもっと大変になるとは思いますが、みんなと一緒に助け合いながら2年生になっても頑張っていきたいと思っています。

大石真央・中島杏美



54回生 誓いの詞

- 一、科学的根拠に基づいた知識・技術を身につけ、患者さんが安全・安楽に過ごせるよう援助できる看護師になります。
- 一、いつも笑顔で誠実に対応し、患者さんに寄り添い、信頼される看護師になります。
- 一、一人一人が、日々努力し、仲間と力を合わせ、生涯にわたり、学び成長し続ける看護師になります。



「皆さん、お元気ですか？」



加門 正光

3 A病棟は救命救急センターとして呉圏内の救急患者を24時間体制で受け入れています。内科系、外科系問わず様々な疾患を持った患者さんが入院されます。救急外来、透析室、心臓カテーテル検査

の業務も行っており、やる気次第で様々な経験ができ、知識を身につけることが出来ます。初めは分からない事ばかりで不安になることが多くありますが、先輩方がしっかりサポートして下さるので、安心して働く事が出来ます。他病棟と比べると男性看護師も多く、男性にとって働きやすい環境です。ぜひ一緒に働きましょう。



松本 篤志

9 A病棟は、精神科病棟で統合失調症や躁うつ病、適応障害などの患者さんや、精神科疾患に身体疾患を合併した患者さんが入院されています。病棟では他職種によるカンファレンスや、修正型電気

けいれん治療、医師・看護師による勉強会もあり、精神科疾患や看護の知識を深め、日々の看護に活かす事が出来ます。仕事では先輩看護師が丁寧に指導して下さい、困っているときや悩んでいるときには優しく声をかけて下さいます。また、こちらから先輩看護師に相談しやすい雰囲気があります。男性看護師も多く男性にも働きやすい職場です。一年目でいろいろと悩むこともあります病棟のスタッフや先輩に恵まれ楽しく働くことができています。



森島 志織

6 A病棟は手術前後の患者さんから、ターミナルの患者さんまで様々な患者さんと関わる事ができる病棟です。就職当初は何も分からず戸惑う事ばかりでしたが、4年目となる今、患者さんのために、

どのような関わりが必要なのか考えながら看護をすることの大切さ、やりがいを感じながら仕事をしています。退院した患者さんが病棟に遊びに来てくれることも多々あり、元気そうな姿を見ると本当に嬉しく、看護師をやっている良かったな、もっと患者さんのために頑張ろうと自分の活力になっています。



西 綾乃

4 B病棟は小児科、小児外科、糖尿病内科の混合病棟です。新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんだけでなく、内科と外科の看護を必要としており、多くのことを学ぶことができます。患者さんの看護だけではなく、小児や高齢者は特に家族との関わりも重要となることが多く、チーム全体で看護をすることが必要となります。そのために、普段からお互い声をかけ、相談し合いながら協力して日々看護しています。ぜひ一緒に働きましょう！

編集後記

卒業生の皆さん、お元気ですか？

「呉看護だより Kure 鯉 恋 こい」の10月号を発行することができました。

忙しく過ごされていることと思いますが、懐かしい仲間のメッセージや写真をみて学生時代を思い出していただけたら嬉しいです。

編集長：天野志保

編集委員：3年生 藤原圭祐 藤川 梓 佃由紀子

2年生 奥田祐里 近藤佑佳 山本真紀 小河優佳

1年生 中島杏美 大石真央 松枝夏希 松本亜美

